

東北文教大学学生と県議会議員との意見交換会開催状況

開催日時	令和5年11月10日（金）16時45分～17時45分
開催場所	議会棟
出席議員	小松伸也、相田光照、今野美奈子、鈴木学、石川正志
参加者	学生14名
意見交換の概要	<p>①魅力ある山形県にするには（人間科学部人間関係学科）、②保育・教育の現場における課題について（同子ども教育学科）の2班に分かれてワークショップ形式で意見交換を行った。また、学生が各班で取りまとめた内容を発表したほか、終了後に議場を見学した。</p> <p>【主な意見等の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形県の良いところは人や風土。不便なところもあるが、様々なことが揃っていると思う。魅力ある県にするには、PRの方法を工夫する必要がある。 ・公共交通機関について、人口減少とのバランスを取りつつ、若者や高齢者等の当事者のニーズに合わせて充実させていくことが重要である。 ・観光客を迎え入れる場面などでのコミュニケーション能力の向上が大切である。 ・小学校や保育園・幼稚園は、人手不足で労働時間が長く、休憩を取りにくいことなどもあると思う。多忙な状況により、モチベーションや教育・保育の質が低下する懸念がある。 ・小学校での教育実習に参加したが、育休・産休の制度があっても代替となる教員がいない状況で、学校現場は厳しい状況だと感じた。ICTの活用により事務作業などの負担軽減を進める必要がある。 ・保育園で連絡アプリを導入している事例があり、子どもの様子をスマホで確認したり、登園確認を簡単にすることができ、保護者の安心や園との円滑な連携につながる。こうした取組みを広げていくことが重要である。